

## 令和3年度事業活動報告

令和3年1月1日～令和3年12月31日

特定非営利活動法人 建築技術支援協会

### 1. 総括報告

令和3年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染を恐れて消極的な活動を余儀なくされております。一方でこれに負けないように対面によらない仕事のやり方、仕事の開発が進められています。事務作業でいえばテレワークはその代表ですが、実作業をロボット化、或いは自動化する動きが広まりつつあるのもプラスの側面でしょう。

建設業界では従業員の給料が次第に上がり、いわゆる3K（きつい、汚い、給料が安い）を脱しつつあるように見受けられますが、なお、その生産性のレベルは他産業に劣ります。脱炭素、SDGsなど大きな社会的課題のある中、当協会の役割は何なのか自問する1年でもありました。

このような中、今年度の収支は例年に比べかなり改善が見られました。それは各部の活動が収支を意識し、その改善に取り組んだ結果であります。

具体的な活動を挙げると、各部門の協力で実施したサーツ寺子屋はオンラインによる方式が定着し3回開催されました。当協会で支援している中央区の耐震セミナーはユーチューブで行われ、文京区、練馬区のセミナーはコロナが下火の時期に対面で行われました。建築技術支援では、マンション管理組合の支援事業が昨年より繰り越した5物件の業務を含めて8件、調査報告が3件あり、盛況でした。また、管理組合がコロナの影響で動けず今期の予定の内5物件が来期に繰り越す結果になりました。

戸建て住宅部会は林野庁CLT等の新たな木質建築部材利用促進、木造住宅関係でタウンハウスの支援が3件のほか木造住宅合理化システム協会の支援を継続しました。

建築部会は従来の業務の他、建物屋上の太陽光パネル設置に関する構造安全性の検討を複数件行い新たな活動分野を得ました。

集合住宅部会はコロナ関係で苦慮を続けていますが、中層住宅用エレベーターについてはURの支援に当たって作業費の支払いを受けることができました。

広報活動は、人が集まりにくい中、マンスリーレポートを復活し、ほぼ毎月定期的に発行して会員間のコミュニケーションを維持しました。

経営企画ワーキンググループは、当協会の現状の問題点など議論し、将来像の議論を進めました。

各部の活動は、従来よりもその境界が低くなり協力して活動することが多くなっています。今年度は各部会が目標達成に向けて尽力された成果が現れました。大変ご尽力された会員各位に心から敬意を表し総括報告といたします。

## 2. 事業内容

特定非営利活動に係る事業を対象に令和3年度事業計画に基づいて次項に示す事業を実施した。

### 1) 実施体制

- ① 会員 正会員 49名、賛助会員 41名、賛助団体1社、顧問 1名（令和3年12月31日現在）
- ② 組織 建築部会、戸建住宅部会(マンション研究会を含む)、集合住宅部会、住宅技術部、マンション管理組合支援事業部のほか自主研究部会(歴史的建築研究会、LLB技術研究会)、経営委員会、広報委員会、企画WG、事務局  
特定非営利活動法人 建築技術支援協会

### 2) 事業活動記録

事業名	事業活動内容等		実施	担当部会	実施場所	受益対象者		
						対象	人数	
教育普及	サーツ寺子屋 (オンライン方式)	第2回 「地震災害に対するマンション生活継続計画」 ー避難所に行かない選択のためにー	4月17日	建築部会 マンション管理支援事業部 集合住宅部会	ZOOM	一般建築技術者 および地元区民 またマンション居住者	36	
		第3回 「建築はどうあるべきか」 ー小さな声からはじまる建築思想ー	5月29日		ZOOM		31	
		第4回 「住み慣れたマンションで安心な老後生活を送るために」 ー社会を取り巻く大変化の中で'安心の暮らしを考えるー	9月4日		ZOOM		28	
		第5回 「木造住宅の地震被害とその耐震安全性の確保」	10月23日		ZOOM		36	
	セミナー等	中央区耐震セミナーの開催(オンライン方式)	1月30日		you tube	区民	～	
		練馬区耐震セミナー	8月21日		練馬区役所	区民	～	
		文京区耐震セミナーの開催	10月7日		ふれあい館	区民	～	
		東京都 マンション耐震化通信 1, 2号に出稿			冊子	都民	～	
		文京区耐震化アドバイザー派遣要請(10件受託)	4～12月		現地	区民	～	
		日本CLT協会「リモデリングWG」	4～12月		日本CLT協会		～	
技術支援	木造住宅技術支援	[GT,M]タウンハウス大規模改修実施支援	1月～12月	戸建住宅部会	現地及びサーツ事務所他	管理組合	～	
		住宅設計施工一般に関する技術支援	1月～12月			E社	～	
		木造住宅合理化システム協会事務局業務	1月～12月			木造住宅合理化普及協会	～	
		[M,T]タウンハウス管理組合大規模修繕実施支援	1月～12月			各管理組合	～	
		「I」タウンハウス「長期修繕計画」策定等技術支援	1月～12月			管理組合	～	
		CLT建築推進業務支援	1月～12月			CLT協会	～	
		(東日本大震災支援)上閉伊地域復興住宅支援(釜石、遠野、大槌)	1月～12月			上閉伊復興住宅協	～	
	一般建築技術支援	技術相談	STMマンション大規模修繕、工事監理	2月～9月	マンション管理組合支援事業部	現地	管理組合	～
			CF.Sマンション大規模修繕、工事監理	3月～10月		現地	管理組合	～
			HKマンション大規模修繕、実施設計、業者選定補助	1月～12月		現地	管理組合	～
			PCHマンション、調査診断	3月～12月		現地	管理組合	～
			FK2マンション、調査診断	6月～10月		現地	管理組合	～
			SVTマンション、調査診断、大規模修繕企画相談	1月～12月		現地	管理組合	～
LGYマンション、大規模修繕企画相談			1月～12月	現地		管理組合	～	
SCKマンション、給水・給湯管改修企画相談			9～12月	現地		管理組合	～	
特定建築物定期調査報告(対象マンション3件)			11月～12月	現地		管理組合	～	
住宅あんしん保証 技術支援	1月～12月	建築部会	建築現場	住宅あんしん保証	～			

技 術 支 援	マンション 管理組合 支援事業	コスモフォーラムすずかけ台駅前、ハイツ上鷺宮、ソフトタウン武蔵野、スカイビュー戸塚、パークコート本郷真砂、ファミリー春日部式番館（特建報告：コスモフォーラムすずかけ台駅前、アール五反田、ワコーレよみうりランド）	1月～12月	マンション管理 組合支援 事業部	各マン ション	管理組合	～
	一財)日本開 発構想研究所 の支援業務	千葉県の外房地区のマンション実態調査支援	12月	集合住宅 部会	千葉県外 房マン ション	千葉県	～
	集権設計の 支援業務	中層階段室型住棟用エレベーター用シャフトの構造設計・工法計画支援	～12月	集合住宅 部会	UR本社検 討委員会	UR	～
調 査 研 究		木質建築部材・工法の普及・定着に向けた技術開発等支援事業のうち木質建築における新たな防耐火仕様の研究開発	1月～12月	戸建住宅 部会	～	建築 関係者	～
		林野庁CLT等新たな木質建築部材利用促進・定着委託事業のうちディベロッパー等への普及	1月～12月	戸建住宅 部会	～	建築 関係者	～
		大径化した原木の利用拡大及び横架材・2×4部材等の製品・技術開発	4月～12月	戸建住宅 部会	～	建築 関係者	～
情 報 発 信	書籍・ ビデオ・CD の発行	定版第2版 あなたが知りたいマンションの耐震性 冊子発行	1月～12月	建築部会	サーツ 事務所	建築技術者 一般市民	多数
専 門 紙 報 道 会 報 等	マンスリー レポート	サーツ情報を、月初めにメールにより会員宛に発行	1月～12月	広報 委員会	～	サーツ 会員	100名
	建築技術	連載「東西南北」	1～12月号	各部会	～	購読者	多数
		サーツニュース	1～12月号		～	購読者	多数
	会 報	特集、活動状況報告等	季刊		～	会員	300部
	サーツ案内	サーツ案内パンフレット	12月		～	～	多数
ホーム ページ	協会の活動状況、各種スケジュールの周知など	随時	<a href="http://www.pats.or.jp">http://www.pats.or.jp</a>		公開	多数	
耐震補強 工事監理	マンション耐震補強工事(工事監理)	1～2月	サーツ一級建 築士事務所	現地	管理組合		
構造計画	建物屋上の太陽光パネル設置に関する構造安全性の検討(複数)	4月～12月	サーツ一級建 築士事務所		発電企業		
勉強会ほか	建築部会における意見交換会	1月～12月	建築部会	オンライン	建築部会 会員	約15名	

# 令和3年度 活動計算書

令和3年1月1日から 令和3年12月31日まで

特定非営利活動法人 建築技術支援協会  
(単位:円)

科 目	当期活動金額		本年度予算額
<b>I 経常収益計</b>			
1 受取会費			
正 会 員 会 費	1,481,000		
賛 助 会 員 会 費	505,000		
団 体 会 員 会 費	48,000	2,034,000	2,005,000
2 受取入金			
	10,000	10,000	
3 受取寄附金			
受取寄附金	10,000	10,000	800,000
4 受取補助金			
調査研究事業受取補助金	25,376,461	25,376,461	27,000,000
5 事業収益			
教 育 普 及 事 業 収 益	83,877		
技 術 支 援 事 業 収 益	8,057,370		
情 報 発 信 事 業 収 益	167,536		
調 査 研 究 事 業 収 益	14,383,765		
マ ン シ ョ ン 支 援 事 業 収 益	7,223,700	29,916,248	35,394,000
7 その他収入			
受 取 利 息 入	127		
雑 収 入	12	139	25,000
経常収益計		<b>57,346,848</b>	65,224,000
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 人件費			
雑 給	75,000		
人件費計	75,000		
(2) その他経費			
謝 金	41,410,229		
会 費	0		
諸 費	0		
旅 費	1,022,286		
通 信 費	607,099		
消 耗 品 費	9,370		
印 刷 製 本 料 費	1,077,573		
光 熱 水 料 費	182,699		
賃 借 料 費	1,724,800		
租 税 公 課 料	42,900		
支 払 手 数 料	68,270		
交 会 場 賃 料 費	125,400		
雑 減 価 却 費	0		
減 価 却 費	0		
その他経費計	46,270,626		
事業費計		46,345,626	55,164,000
2 管理費			
(1) 人件費			
給 料 手 当 給	720,000		
雑 給	4,675,000		
人件費計	5,395,000		
(2) その他経費			
謝 金	355,686		
会 費	37,723		
諸 費	140,695		
旅 費	635,014		
通 信 費	302,483		
消 耗 品 費	308,219		
印 刷 製 本 料 費	0		
光 熱 水 料 費	91,350		
賃 借 料 費	862,400		
租 税 公 課 料	790,419		
保 険 手 数 料	79,110		
支 払 手 数 料	470,251		
交 会 場 賃 料 費	0		
雑 減 価 却 費	2,000		
減 価 却 費	0		
その他経費計	4,075,350		
管理費計		9,470,350	10,060,000
経常費用計		<b>55,815,976</b>	65,224,000
当期経常増減額		<b>1,530,872</b>	0
<b>III 経常外収益</b>			
経常外収益計		0	0
<b>IV 経常外費用</b>			
0 経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額		1,530,872	0
法人税、住民税及び事業税		70,000	
前期繰越正味財産額		14,746,248	14,746,248
次期繰越正味財産額		<b>16,207,120</b>	14,746,248